

高松サンポート合同庁舎記者クラブ
徳島県政記者クラブ
池田日刊新聞放送記者会

令和元年11月7日
四国地方整備局
四国山地砂防事務所
徳島県
東みよし町

大規模土砂災害を想定した合同対応訓練を実施します ～土砂災害時に想定される災害に対する緊急対応及び連携確認～

台風による豪雨時や南海トラフ地震時に発生が懸念される大規模土砂災害に対し、関係機関が連携し被害の軽減を図るため、関係機関による合同対応訓練を実施します。
訓練は国土交通省のみならず、気象庁、自治体、消防など、実際の災害時に関係する機関が一堂に会し、より実態に近い形で連携を確認することを目的に実施します。

◆大規模土砂災害を想定した合同対応訓練

1. 開催日時・場所

- ・令和元年11月13日(水) 13:00～17:00【受付開始12:30】
- ・「東みよし町役場 2階 多目的ホール」(三好郡東みよし町加茂3360)

2. 訓練概要、参加機関

- ・別紙-1のとおり。

3. 訓練見学(事前申込み不要)

- ・記者席及び傍聴席を用意していますので、ご自由に見学いただけます。

4. その他

- ・本合同対応訓練にて、通信途絶状態の集落孤立に備え、徳島県と東みよし町が共同で、県内で初めて実施する準天頂衛星(みちびき)を活用した「衛星安否確認システム(Q-ANP I)」の紹介及び機器の展示を行います。

【参考】

通信途絶を伴う集落孤立に備えた準天頂衛星(みちびき)を活用した安否確認訓練について

- ・日時 令和元年11月13日(水) 9:30～11:00
- ・場所 東みよし町役場 三好庁舎駐車場(東みよし町屋間) 仮設テント

本施策は、四国圏広域地方計画「No.1南海トラフ地震を始めとする大規模土砂災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

問合せ先 (〇:主たる問合せ先)

◆合同対応訓練に関する問い合わせ

国土交通省 四国地方整備局 河川部 河川計画課 TEL:087-851-8061
課長補佐 平澤 良輔 (ひらさわ りょうすけ)
国土交通省 四国地方整備局 四国山地砂防事務所 TEL:0883-72-5400
〇副所長(技術) 白石 隆 (しらいし たかし)

◆準天頂衛星(みちびき)を活用した安否確認訓練に関する問い合わせ

徳島県西部総合県民局 地域創生部〈美馬〉危機管理担当 TEL:0883-53-2391 担当 堀・後藤

1. 訓練日時

◆ 令和元年11月13日(水) 13:00~17:00
【受付開始12:30】

2. 訓練会場

◆ 東みよし町役場 2階 多目的ホール
徳島県三好郡東みよし町加茂3360

3. 参加機関

- ◆ 国 : 四国地方整備局
(防災室・災害対策マネジメント室、河川部)
四国山地砂防事務所
徳島河川国道事務所
気象庁 徳島地方気象台
- ◆ 徳島県: 危機管理部 とくしまゼロ作戦課
県土整備部 砂防防災課、河川整備課
西部総合県民局 地域創生部(美馬)
県土整備部(三好)
- ◆ 東みよし町: 総務課、建設課、福祉課、企画課
社会福祉協議会、消防団
- ◆ みよし広域連合消防本部: 警防課
- ◆ 四国山地砂防ボランティア協会

4. スケジュール

| | |
|-------------|------------|
| 12:30~13:00 | 集合・受付 |
| 13:00 | 開会 |
| 13:00~13:05 | 開会挨拶 |
| 13:15~13:25 | 訓練の進め方の確認 |
| 13:25~16:20 | 学習型合同対応訓練 |
| 16:20~16:35 | ふりかえり・意見交換 |
| 16:35~16:55 | 全体講評 |
| 16:55~17:00 | 閉会挨拶 |
| 17:00 | 閉会 |

5. 訓練の目的

- 1) 土砂災害防止法ならびに災害対策基本法に基づき、**河道閉塞**や**地すべり**の発見から**住民避難および解除の判断**等までの一連の流れの中で、各機関が果たすべき**責務・役割**について確認すること。
- 2) 各機関の**役割分担**を把握し、現在の**問題点**を把握することで各機関間の**連携強化**につなげるとともに、大規模土砂災害に対する**知識の醸成と意識の向上**につなげる。

6. 学習型訓練とは

進行者

訓練参加の各組織をひとつの災害対策本部、もしくは災害対策支部と見立て、それぞれに質問する。



「〇〇で大規模な崩壊が発生し、△△の状態になっている。」との報告が入りました。あなたの方の組織では、どのような行動をとりますか？

回答者を特定して当てることはしない。あくまでも訓練参加組織に対して質問し、組織として回答する。

訓練参加者

質問内容に応じて、訓練参加組織内での回答者を決め、発表を行う。



私たちの組織では、〇〇を第一に考え、〇〇を行います。

回答者は与えられた設問に対して、その場で考え、すぐに回答する(周囲から助言をしても良い)



高知県安田町・馬路村(平成29年度) 合同対応訓練の様子

学習型訓練の特徴

| | |
|-----------------------|---|
| 1. 訓練シナリオ(訓練の進行状況)の理解 | 進行者がその都度状況説明を行うため、 全員が同じ状況を認識、共有、理解 できる。 |
| 2. 他機関の災害対応の理解 | 各機関の回答を聞くため、 他機関がどのような対応 を行うか理解できる。 |
| 3. 時間軸 | 進行者が状況をその都度説明し、時間軸にとらわれず、 重要な場面等を切り出して訓練 を実施できる。 |
| 4. 見学者の理解 | 参加者と同様に状況説明や回答を聞いているため 参加者と同程度の理解 ができる。途中から見学してもある程度理解できる。 |